

経営強化を図るための財源を確保することを目的として、令和4年度からクラウドファンディングやネーミングライツ事業を新たに実施しています。

クラウドファンディングでは、国立室戸青少年自然の家(高知県)及び国立信州高遠青少年自然の家(長野県)の2施設で実施し、いずれも目標金額を達成しました。

また、ネーミングライツ事業では、株式会社かんぼ生命保険をネーミングライツ事業者に決定し、命名権料として約1千万円を確保しました。

今後も引き続き、財源確保に取り組み、青少年教育の振興及び健全な青少年の育成に取り組んでまいります。

■海洋活動体験船「くろしお」復活 クラウドファンディングプロジェクト (国立室戸青少年自然の家(高知県))

海洋活動体験船「くろしお」は、定員40人ほどの旅客船で、室戸岬の周辺を指導員の解説を聞きながら回遊できる、施設の呼び物となる体験イベントでしたが、エンジンの排気管に損傷が見つかり、運航を見合わせていました。

新型コロナウイルスの影響で収入が減り、修繕費(119万円)をまかなうことが難しいことから、クラウドファンディングで寄付を募り、その取組がNHK高知でも報道されるなど注目を集め、約180万円の寄付を得ました。



■株式会社かんぼ生命保険とネーミングライツ契約を締結

令和4年度は、株式会社かんぼ生命保険をネーミングライツ事業者に決定するとともに、株式会社かんぼ生命保険及びNPO 法人全国ラジオ体操連盟と令和4年8月に包括協定を締結しました。

愛称：かんぼ ラジオ体操広場
命名権料：総額 10,263,000円
契約期間：令和4年8月1日～令和7年3月31日

導入施設：①国立磐梯青少年交流の家(福島県)
②国立那須甲子青少年自然の家(福島県)
③国立中央青少年交流の家(静岡県)
④国立淡路青少年交流の家(兵庫県)
⑤国立大洲青少年交流の家(愛媛県)



かんぼ生命のwebCM「もっとうごかそう、ラジオ体操で。」篇(フルバージョン)に、国立中央青少年交流の家でのラジオ体操シーンが放映。